チーム名	ライオン
アプリ名	trovato (トロバート)
アプリ概要	このアプリは課題のリマインドする Web アプリです。メインターゲットは、自己管理が苦手な学生です。このアプリを使うこと
	によって、教科書を忘れたり課題の締め切り日を忘れたりしてしまう学生の課題を解決できます。
	競合アプリはUNIPAやGoogle Classroomというアプリで、それぞれ時間割や課題をリマインドしてくれるアプリです。それらの
	アプリとの差別点は、持ち物機能があること・他人と課題共有できること・UNIPA にはない課題機能、Google Classroom にはな
	い時間割機能があることで互いにないものを補い、ひとつのアプリで完結できる点にこだわりました。そして時間割登録機能を
	専用画面ではなくホーム画面から直接登録出来たり、持ち物登録で毎週あるか聞くことで一度登録すれば毎週リマインドしてく
	れる機能をつけたり画面内がスッキリするようにもっと見るボタンを実装して情報量を調節したりとユーザが快適に使えるよう
	細かい部分にも気を配りました。
マプリエア	

アプリ画面



写真 1. ホーム画面



写真 2. 課題登録画面





写真.3 持ち物登録画面

写真.4 持ち物一覧画面

の意気込み

コンテストへ
チャレキャラへは、「講義で聞いた知識」を「実際に扱える知識」に昇華させるべく参加しました。コロナ禍でオンライン形式が 普及したことにより流れようと思えば楽な方へ流れることができ、チャレキャラのようなイベントの存在や開催を小耳に挟む機 会が減ってしまった。というやらない言い訳をして去年を無為に過ごしてしまった自分達との決別の意味も込めて今回の 「trovato」を制作しました。trovato とはイタリア語で「みつけた」という意味、やる気が起こらない学生が一歩踏み出すきっ かけを見つけられるようにと想いを込めています。なんて、偉そうにできる側の人間のような書き方をしてしまいましたが、私 たちも去年までそちら側の人間。急に一念発起したとていきなりできる側へ駆け上がれるわけではないし、講義で習ったモノを アウトプットした経験もありません。具体的な成果物を作るのもチームで連携しながらの開発も初めてという初めてづくしの参 加でした。講義でやったことがあるはずなのにいざ自分で実装しようとすると手が止まった。という回数は10や20ではあり ません。正直何度かモチベーションが底をつき、投げ出そうとしたこともありました。ですが1年以上にわたるオンライン講義 により味わった、友人に会えない寂しさが私たちに相談するきっかけと相手の話を親身に聞く姿勢を与えてくれました。その結 果「お前が実装したその機能すごいな」と互いを褒め合ってやる気を出したり、自分が作ったこの機能はどうやって実装したの かをみんなに教える勉強会を誰に言われたわけでもなく自分達で開いたりとチームで支えあいながらモチベーションを保つチー ム開発ならではの恩恵を得ることもできました。

メンバーの一人が病気になってしまいみんなそろって完成の瞬間を迎えられなかったのが大きな心残りです。